

2026.3.26

2025年度グループホームつばき地域連携推進会議議事録

日時：2026年3月26日（木）15：00～16：00

1. 開会・施設長あいさつ

地域連携推進会議の目的についての説明と、規程の確認

2. 出席者紹介

利用者代表 1名

利用者家族の代表 1名

地域の関係機関 1名

福祉に知見のある方 1名

施設職員 2名

総数 6名

3. 議事

(1) 施設の運営状況と支援内容

- ・ 椿福祉会のグループホーム開設と現在に至るまでの変遷と現況について説明
- ・ 法人の基本理念、方針の説明
- ・ 10月31日までの財政状況について報告
- ・ 入居者の様子、生活の流れ等を説明
- ・ 職員の業務内容（世話人、生活支援員）について説明

(2) 地域との連携の進捗と課題

法人単位では文化祭等の行事にボランティアの方に参加してもらっているが、事業所として積極的な地域との関わりはできていない。

(3) 利用者支援に関する課題と対応策

休日の過ごし方について、重度障害者の希望に添った外出支援の体制が整えられていない。ヘルパーの確保と事業所内イベント等の実施を検討している。

(4) 地域資源の活用や交流促進事業

あんしんサポートの活用、鶴見区のボランティア団体の公演

(5) 虐待防止・意志決定支援の取組み状況

- ・事故、ひやりハット、苦情報告書などの作成とその後の対応
- ・職員セルフチェックリスト月1回実施
- ・虐待防止委員会（法人単位で会議を実施）、身体拘束適正化委員会（施設単位で会議を実施）の設置と各研修の実施
- ・利用者自治会2ヶ月に1回実施し、利用者の方の意見を表出できる機会を作っている。個別の希望については、定期的なアセスメント以外にも、土日や宿直等でホームを訪れた際に利用者の方の話をお聞きし、個別支援計画に反映できるようにしている。

(6) その他、施設運営に関する助言事項（意見交換）

地域交流について主に助言をいただいた

- ・現在も行っているかわからないが、イオンのイエローレシートの取り組み
- ・アクションプラン
- ・地域の行事に参加させてもらう。お祭りやイベント等に顔を出して知ってもらう。
- ・鶴見区相談支援部会で鶴見区全体でのイベントをできないかと検討している。大きなイベントを開催することが決定したら、呼びかける。
- ・SNSでの発信
- ・地域の新聞への掲載依頼
- ・ケアマネやヘルパーの勉強会等に講師として参加させてもらい、障がい者グループホームとはどのようなものか、知らない人に知ってもらう。
- ・社会福祉法人として様々な事業を行っているので、他との違いをアピールしていく。
- ・区内のグループホームの事業所を集めた組合のようなものを作って活動する。小規模の事業所は単体で活動することが難しいため、集まることで情報共有ができるのではないか。

4. 施設見学 16:00~18:00

グループホームアムール

グループホーム安田1、安田2

グループホームラポール

グループホームリベルタ

以上5事業所を参加者に見学していただいた。